



## 派遣留学報告書

記入日 2018年 12月 24日	
氏名	白神 拓也
所属学部・研究科	工学研究科 社会基盤環境工学専攻 1年次（留学開始時点）
学生番号	M184550
留学先大学	ベトナム交通運輸 大学（国名：ベトナム）
所属学部・学科等名	Faculty of civil engineering
在籍身分	
留学期間	2018年9月4日～ 2018年11月28日

## 1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	留学の経験はなかなかできるものではなく海外に対する理解や語学能力向上に良い機会だと感じた。
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？）	締切間近に留学を決めたため応募後に留学準備を始めた。
事前準備について（どのような準備をしたか、しておけばよかったか）	現地情勢についての調査、予防接種、パスポート取得、ビザ取得

## 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：就学ビザ（マルチプルビザ）
	ビザ申請先： 在大阪ベトナム総領事館
	提出書類：パスポート、ビザ代、申請書類（現地で記入）
	手続きに要した日数：1日
その他必要な事前手続き	
出国年月日	2018年9月4日
経路（往路）	広島空港発、羽田空港経由、ノイバイ空港（ハノイ）着
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有（大学関係者 ・ その他） <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	到着の次の日、担当教員との打ち合わせを行った。授業等の確認を行った。





留学先でかかった病気、 けが	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合、具体的な症状 等（情報共有しても差し 支えなければ）	
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回 数、費用、受けた医療機 関名	種：破傷風、A型肝炎 回数：それぞれ1回 費用：5000円 場所：下山記念クリニック
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：
留学先国の医療事情 （日本と比較して）	
留学先での健康管理、衛 生面について特に注意 すべきこと	露店にある生のは避けるべき
(3) 食生活についてのアドバイス	
大学の周辺には食事ができる場所は豊富にある。また日本食が食べられる飲食店も徒歩圏内にある。	
(4) 服装についてのアドバイス	
日本と比べると気温が高いためほとんどTシャツのみで生活できる。11月中旬頃は気温が下がってくるため一枚重ね着する程度は必要になる。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
学内には教室によってはWi-Fiがある。飲み物などが買うことができる売店が学内にある。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
クラスで一緒になった学生との交流、日本食店の店員、広島大学への留学経験のある学生との交流があった。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
特になし	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

生活にに必要なものは大学近くのスーパー等で調達できるため、数日分の着替えと初日分の飲食物があれば十分だと感じた。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

空港で携帯のSIMカードを買うことが出来るが、事前に現地のキャリアについて調査しておくことで円滑に購入や更新ができる

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年3月 (当初の卒業予定年月 2020年3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	就職時期に変更はないので春に就職活動を行います。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	3タームに留学だったので3ターム目に入れるはずだった単位を2タームの時にとった。

## 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
ベトナム大使館	<a href="http://www.vnembassy-jp.org/ja">http://www.vnembassy-jp.org/ja</a>	

## 8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：  
 初めての海外での生活ということもあり、知らない所で生活することは最初不安に感じていましたが、留学した3ヶ月間はとても短く感じました。皆さん優しく接してくれたので生活自体はとても快適でした。思うようにできなかった部分はありますが、充実した留学だったと思います。この経験を糧にこれからも英語学習や研究活動を行っていきたいです。

後輩へのメッセージ：  
 海外で学習、生活する経験ができることはとてもいい経験になると思います。ベトナム交通困ったことがあれば周りの人は助けてくれると思いますし、相談しやすい環境だと思います。

## 9. 自由記述 (1200字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

これまで海外への旅行の経験はなく3ヶ月間生活できたことはとても有意義だった。学習に関して当初はベトナム交通運輸大学の担当教員と学部の授業、研究、日本企業へのインターン、国際学会発表を計画していた。しかし、インターンと研究は話がうまく進まなかったため行うことができず残念だった。計画していた研究は、ATTコラムという建物などの基礎や地盤改良に使われるセメントを混合した杭基礎についての野外実験の再現解析を行う予定だった。旭化成建材からMAIDAS GTSという解析ツールを使わせていただく予定だったが、なかなか連絡が取れず時間がなくなってしまった。授業はsoil mechanics、foundation analysis and designという授業とurban planning and managementという2日で行われた集中講義を受けた。Soil mechanicsは広島大学の学部2年で受ける土質力学と同じ内容で復習する形となった。一度学習した内容だったので英語も理解しやすかった。foundation analysis and designでは基礎の基本的な知識だけでなく基礎の設計や各値の計算方法などこれまで学習しなかった少し踏み込んだ部分まで学習することができた。urban planning and managementは京都大学とベトナム交通運輸大学が共同で行う集中講義で、都市計画や計画を行うための分析方法、分析の指標となるデータについての知識をベトナムの首都であるハノイを例に学んだ。またベトナム交通運輸大学で行われた学会発表に参加した。初めて英語でのプレゼンテーションを行うことができた。

ベトナム交通運輸大学では、広島大学の研究室のような学生の部屋はなく先生が集まるオフィスしかない。そのため、主に授業の時しか学生と交流する機会はなかった。ベトナムの学生は日本に興味がある人が何人かいて、カタコトではあるが日本語を話すことができる学生もいた。将来、日本での留学や働くことも考えているようで積極的に外国に出て学ぼうとする姿勢を感じた。また広島大学に留学していた学生と何度か食事をする機会があった。家に招待してもらい様々なベトナムの料理をご馳走してもらった。

ハノイは古都として有名で歴史的な建造物が数多くあり、休みの日には観光地である旧市街地によく行っていた。旧市街を離れると市内の至る所で大型のマンションやオフィスが建設中で、まさに現在進行形で発展しているということをよく感じた。ハノイでは交通手段としてバイクがよく用いられており、大抵の学生はバイクを持っている。とにかくバイクの量が多く、バイクは車線に関係なく走っていた。出掛ける際はバイクタクシーをよく使っていたが、舗装状況があまりよくない場所もあり少し怖かった。また徒歩で道を横断する際には現地の人はその中を難なく横断していたが大量のバイクが走る中をいかくぐって行かなければならない。慣れるまでは一ヶ月ほどかかった。

ベトナムでは料理を頼むと様々な調味料がついてくる。ベトナムの人はスパイシーなソースが好きなようで様々な料理にチリソースやヌクチャムといった調味料をつけて食べる。下の写真はフォーを頼んだ時の写真で、しっかりとチリソースがついてきた。フォーにもついてくることには驚きましたが、とても美味しかった。

3ヶ月間の留学を通して、日本の文化との違いや考え方の違いを感じる事ができた。

